

令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立山崎高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成
主幹教諭（教務主任兼務）＝事務局長、主幹教諭（生徒部主任兼務） 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務主任兼務）、主幹教諭（生徒部主任兼務） 計5名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
町田市青少年健全育成忠生第五地区委員会会長、山崎高等学校同窓会会長、山崎高等学校PTA会長、町田市立山崎中学校校長、町田市立七国山小学校校長、町田消防署忠生出張所長、東京家政学院大学教授、保護司 計8名

2 令和4年度学校運営連絡協議会・評価委員会・防災委員会の概要

- (1) 学校運営連絡協議の開催日時、出席者、内容、その他
第1回 令和4年6月17日（金） 内部委員5名、協議委員8名
令和4年度学校経営計画、令和3年度学校経営報告、令和4年度各分掌・学年の取組について
第2回 令和4年10月28日（金） 内部委員5名、協議委員8名
校長報告、各分掌、各学年による報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価アンケートの内容検討、協議
今年度の防災教育の取組について
第3回 令和5年3月17日（金） 内部委員5名、協議委員8名
令和4年度学校評価アンケートの集計結果について
1年間の総括、次年度への提言
今年度の防災教育の報告

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・12月 全校生徒 対象：554人 回収：550人 回収率：99%
 - ・12月 保護者全員 対象：554人 回収：324人 回収率：58%
 - ・12月 教職員 対象：34人 回収：34人 回収率：100%
 - ・12月 地域・住民 対象：210人 回収：14人 回収率：6%
- (3) 主な評価項目
学校運営、授業・教育課程、進路指導、生活指導、学校行事・部活動、学校生活、広報活動、施設・設備、ワークライフバランス等
- (4) 評価結果の概要・分析・考察
 - ・「授業の満足度」、「習熟度別授業の満足度」とともに70%以上の生徒が満足していると回答している。一方で、「生徒の家庭学習の時間」は41%の生徒が0時間と回答しており、学校全体で家庭学習の実施に取り組んでいく必要がある。
 - ・「進路指導の充実」「個別の進路相談に適切に応じている」はそれぞれ、73%・84%と高い回答率であり、保護者も同様である。
 - ・「授業規律」「学校のルールやマナーを守っている」・「通学のルールやマナーが守られている」・「SNSや情報モラルが守られている」はいずれも、生徒は80%以上の回答をしているが、教員との意識のずれが若干見受けられることが課題である。また、地域から自転車マナーに関する意見が出ているので、指導を徹底していきたい。
 - ・「山高に入学して（させて）良かった」及び「充実した高校生活を送っている」は、生徒が70%弱なのに対し、保護者は80%前後であった。学校行事や部活動が従来通りの形で実施できなかったことが主な要因であり、次年度内容の充実が大きな課題となる。
 - ・「学校は生徒や保護者からの連絡や相談に適切に対応している」は、生徒77%、保護者86%であり、昨年度とほぼ同様である。
 - ・「学校の施設や設備に満足しているか」は生徒が51%であった。校舎の老朽化が指摘される中で、古くてもきれいな学校にしていく姿勢で、校内の美化活動に力点を置くことが求められている。
- (5) 自由意見
 - ・ALTの授業を多くするなど、もっと英語学習に力を入れてほしい。

- ・放課後勉強したいので、自習室をつくってほしい。
- ・学校行事を充実させてほしい。本格的に行事をやりたい。学校行事は、学年毎ではなく全校で行いたい。楽しくしたい。学校行事が少なくなっている。
- ・校内美化等を強化してほしい。
- ・学力面でもっと指導してほしい。
- ・授業は楽しい様子で、家庭でもその内容を話してくれます。
- ・得意な生徒がさらに成績が伸びるような取り組みをして、学校全体で学力向上に向けて力を注いでほしい。
- ・コロナ禍であっても、行事を行なえるよう心くばりしていただき感謝しています。また先生方も子どもたちも頑張っていると感じています。
- ・部活動があるので、学校生活が充実しているようです。
- ・担任の先生の進路指導で具体的なアドバイスをいただき感謝しています。
- ・担任、教科担当、経営企画室の事務の方々、保護者・生徒へ寄り添った温かい対応をして下さり感謝しています。
- ・生徒さんが優しく親切な対応をしてくれたので感謝しています。
- ・アンケートの QR 化、オンライン保護会の実施を検討してください。
- ・自転車の乗り方のルールをしっかりと守ってほしい。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
 - ・様々な立場から本校の現状を見ていただき、校内からは見えない課題をあぶりだすことができ、次年度に向けての課題が明確になった。
- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかになった課題
 - ・生徒の学校生活の満足度に対する要因について
 - ・日常の補習・講習の取り組みについての意識
 - ・自転車マナーや情報モラルについての教員と生徒の意識の差について
 - ・家庭学習の取り組みについて

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

- (1) 学習指導・進路実現についての取組

学習面に対する要望が生徒、保護者ともに多くあり、学力の向上と進路実現を強化していく必要がある。ただ一方で、生徒の家庭学習時間はあまり伸びておらず個人差が大きい。①デジタル化(生徒一人一台端末)をさらに推進していく。教員による説明中心型の授業ではなく、双方向型で生徒が主体的に活動することによって、分かる授業、学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力を向上させる授業づくりを行う。②苦手な生徒の学力の向上に向けての取組を引き続きねばり強く行なうとともに、得意な生徒がさらに学力を伸ばし、進路実現を果たしていけるような講習や補習の実施（山崎受験道場等）、検定に向けての指導、模擬試験の分析会や進路行事を行っていく。
- (2) 行事・部活動についての取組

体育祭や文化祭を始めとする学校行事の充実に対する要望が多くあった。これは学校生活の充実度にも反映されている。③体育祭や文化祭等の行事を生徒会や実行委員会が積極的に運営し、生徒が主体となる学校行事を行っていく。そのために、生徒部と学年、体育・文化祭実行委員会と各クラスとの間で話し合いをしっかりと行いながら進めていく。次年度は学年毎ではなく、全校での実施を基本とする。④部活動（委員会）に参加する生徒の数を増やし、チーム力を高め、部活動を継続する力を養い、部活動の活性化を図ることによって、「放課後にぎやかな山高」にしていく。
- (3) 学校の決まりについての取組

学校の決まりに関しては、毎年見直しを実施しているが、教員間での指導のばらつきや生徒間での意識の差があり、生徒部と生徒会で話し合いはしているが、まだすっきりとした形になっていない。⑤引き続き話し合いを進め、改善するべきところは改善し、教員間での指導のばらつきや生徒間での意識の差を埋めていく。⑥学校全体で挨拶をする習慣をつくり、ルールやマナー（特に SNS や自転車のルールやマナー）を守る意識を定着させていく。
- (4) ユネスコスクールとしての取組

創立 40 周年記念行事が無事に終了し、次の 50 周年に向けユネスコから正式にてユネスコスクールとして認定された。今後、地域や国際交流等を通じて、平和で持続可能な社会の実現を目指すための活動を行っていく。総合的な探究の時間（人間と社会）（SDGs と進路）・修学旅行（平和学習）・文化祭（町田市と連携フードドライブ）・海外の学校との交流等を実施していく。

6 その他

- ・学校評価アンケート結果の概要を、生徒・保護者にもきちんとフィードバックし、PDCA マネジメントサイクルが機能するようにした。
- ・保護者のアンケート回収率を高めるため、アンケートの配布時期と回収の方法の検討が必要である。